

## TOKYO FM 防災スペシャル 首都直下地震に備えて、知っておくべきこと PROTECT MYSELF～自助と共助～

もしも、東京でM7クラスの大地震が起きたら、一体どのような被害が想定されるのでしょうか。

東京都は、2012年4月、東日本大震災を踏まえ、現行の首都直下地震の被害想定を、客観的なデータや、科学的な裏づけに基づき、より実態に即した被害想定へと全面的に見直し、報告書にまとめました。それによると、切迫性が高いとされる東京湾北部を震源とするM7.3の地震が起きると、死者の数は、従来の想定を4000人上回る9600人余り、また23区の約7割が震度6強以上に見舞われ、一部地域では震度7になると想定されています。

そこで、TOKYO FMでは、8月31日(金)、9月1日(土)、9月3日(月)の3日間、「**PROTECT MYSELF～自助と共助の大切さを考える～**」をテーマに、首都直下地震に備えて、今私たちが知っておくべきことを生ワイド番組を中心にお伝えしていきます。

### 【各日・各番組の特集内容】

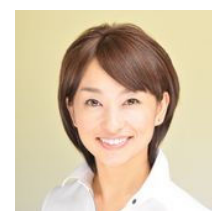
#### ■8月31日(金)

防災スペシャルの初日となる8月31日は、リスナーからの疑問に2WAYで答えながら、首都直下地震の被害想定と、その対策をわかりやすくお伝えします。

### 『BLUE OCEAN』

(月～金 8:30～11:00 放送のレギュラー番組)

- ◇放送日時: 8月31日(金) 8:30～11:00
- ◇パーソナリティ: 住吉美紀
- ◇特別ゲスト: 渡辺実(防災危機ジャーナリスト)
- ◇特集内容: 防災のホントとホンネ ～もし首都直下地震が起きたら～



住吉美紀

『Blue Ocean』では、渡辺実(防災危機ジャーナリスト)を迎えて“防災のホントとホンネ”に迫ります。

まず、“防災のホント”として、首都直下地震の被害想定と、その対策をしっかりお伝えします。

東京都の報告書によれば、東京湾北部を震源とする地震が、冬の夕方6時、風速8m/秒のとき起きた場合、死者は9641人と想定されています。そのうち、揺れによる建物全壊による死者は5378人。震災による火災による死者は4081人。指令外にも負傷者は15万人、建物被害は30万棟に及びます。

もしも自宅にいたとしたら、どのような対応をしたらいいのか？ 日頃の備えは何が必要なのか？

ゲストの渡辺実氏に、家の中にいた場合の「揺れ・倒壊から身を守る」術と、「炎の津波から身を守る」術など、家庭でできる防災対策をうかがいます。

また“防災のホンネ”として、リスナーから、率直な不安や、今さら聞けない疑問などを募集し、“生”でお答えしていきます。

■9月1日(土)

車を運転中のリスナーが多い土曜日は、運転しながら気軽に聴ける“防災ワンポイントアドバイス”を、1日を通してお届けします。

『防災 FRONT LINE』 (土 8:55~9:00 放送のレギュラー番組)

◇放送日時: 9月1日(土) 8:55~9:00

◇特集内容: 当日の朝 9:00 から予定されている警視庁による大規模訓練の趣旨を紹介します。

さらに“震度6弱の地震が発生したら環七より内側には入らないこと”など、ドライバーに心がけて欲しいことを、警視庁交通部にうかがいます。

『防災の日ワンポイントスペシャル』

交通情報枠にて、シチュエーション別の防災ワンポイントアドバイスを1分間にまとめてご紹介します。

◇放送日時: 9月1日(土) 9:55~19:55

9:55~ 学校で大地震が起きたら

11:55~ 自宅のキッチンで大地震に遭遇したら

14:55~ 高層マンションで大地震に遭遇したら

15:55~ 遊園地、野球場などのレジャー施設で大地震に遭遇したら

16:55~ 海や川などの水辺で大地震が起きたら

18:55~ オフィスで大地震に遭遇したら

19:25~ 首都高速を走行中に大地震が起きたら

19:55~ 自宅の備蓄。今日からできること



■9月3日(月)

朝の『クロノス』から、夕方の『シンクロのシティ』まで、4つの生ワイド番組で防災を特集します。専門家へのインタビュー、防災クイズ、街頭インタビューなど、各番組らしい演出で、今私たちが知っておくべきことを、わかりやすくお伝えします。

『クロノス』

(月~金 6:00~8:30 放送のレギュラー番組)

◇放送日時: 9月3日(月)~9月7日(金) 6:30~6:40

※レギュラーコーナー「LOVE & HOPE」枠にて放送します。

◇パーソナリティ: 中西哲生・高橋万里恵

◇特別ゲスト: 関谷直也(東洋大学准教授)、

宇田川真之(人と防災未来センター准教授)

◇特集内容: 被災地に足を運んだ専門家たちの証言~災害時のメディアの役割~



中西哲生



高橋万里恵

●関谷直也/東洋大学准教授 社会心理学(災害情報・環境情報の社会心理)

災害時における社会心理と情報の伝達について研究している関谷直也氏を迎えます。「東日本大震災とソーシャルメディアの影響」をテーマに、より良い防災行動、より良い復興対策のために、メディアを通じてどのような情報を伝え、どのような行動をするべきかを伺います。

●宇田川真之/人と防災未来センター准教授

災害情報を伝えるのに適したメディアと言われるラジオ。3.11 後、被災地のコミュニティFMに足を運んだ宇田川准教授を迎えて、ラジオが実際にどのように震災復興に役に立ったのかを伺います。

## 『BLUE OCEAN』

(月～金 8:30～11:00 放送のレギュラー番組)

- ◇放送日時: 9月3日(月) 8:30～11:00
- ◇パーソナリティ: 住吉美紀
- ◇特別ゲスト: 細川護熙(財「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」理事長)
- ◇特集内容: 津波から暮らしを守る“防潮林”作り



住吉美紀

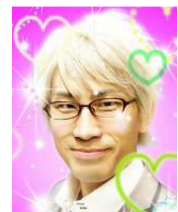
東日本大震災の復興を妨げる要因となっているのが「がれき」の処理。でも「瓦礫」といっても、もとは暮らしを支えていた生活用品であり、それぞれの家庭にとっては大切な思い出の品。人々の想いがたくさん詰まったものを、ただ、焼却処理するのではなく、未来の人が津波被害を受けないようにするための“防潮堤”として有効活用できないだろうか？瓦礫で作った堤防の上に木を植えて森を作れば、やがて防潮林となって津波から身を守ることができるのではないか？

そんな意図でスタートした「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」について、理事長であり元首相の細川護熙さんを迎えて、活動内容とそこに込めた思い、さらに、野田首相に進言したことなどを伺います。

## 『シナプス』

(月～木 13:00～16:00 放送のレギュラー番組)

- ◇放送日時: 9月3日(月) 13:00～16:00
- ◇パーソナリティ: やまだひさし
- ◇特別ゲスト: 中林一樹さん(明治大学大学院特任教授)
- ◇特集内容: 首都直下に備える！防災クイズ！



やまだひさし

中林一樹さんは、東京都の被害想定策定の地震部会・副部長も務める、被害想定作成の本質を知り尽くしたエキスパート。首都直下地震に対して、我々はどのような準備をしていくべきかを“クイズ形式”でわかりやすくお伝えします。

## 『シンクロのシティ』

(月～木 16:00～18:45 放送のレギュラー番組)

- ◇放送日時: 9月3日(月) 16:00～18:45
- ◇パーソナリティ: 堀内貴之・MiO
- ◇特別ゲスト: 未定
- ◇特集内容: 街の声を聴く・・・「防災準備、してますか？」



堀内貴之



MiO

日頃から「VOICE OF TOKYO」と題して、様々なテーマで街の声をご紹介している「シンクロのシティ」では「防災準備、してますか？」をテーマに、街の人々の声を拾いながら、東京に暮らす人々の防災意識をリサーチしていきます。ゲストには災害危機管理のエキスパートを迎えて、街の人々の防災の疑問に対してさまざまなアドバイスを頂きます。